

今年の9月に日本商工会議所青年部北陸信越ブロック大会が長野市で開催されます。ぜひリアルでの開催を果たし成功させます。

また、「未来を創造しよう」とのスローガンのもと、青年部のブランディング、親会・長野商工会議所（や行政との関係強化、青年部オリジナルの単独事業の確立、ビジョン策定など、会員企業の成長と未来につながる活動に力を入れていきます。

## まずは北陸信越ブロック大会を成功させます

——長野商工会議所青年部の令和4年度会長に就任されました。抱負をお聞かせください。

大日方 今年の9月に長野市で、日本商工会議所青年部第42回北陸信越ブロック大会長野大会が開催されます。まずはこれを成功させることが最も大きなことです。ブロック大会とは、長野、新潟、石川、富山の4県で構成される29の商工会議所青年部（YEG）が、年に1度集まって交流する

機会です。長野市での開催は、当時市内に3支部あった当青年部が合併する前の、1992年松代大会以来となります。新型「コロナウイルス」の感染拡大で、昨年と二昨年のブロック大会はオンライン開催だったので、今年はぜひリアルでの開催を実現したいと思っています。大会テーマは「温故知新これからつくる新たなSTORY」としました。

また、私は日本YEG（日本商工会議所青年部）に何年も出向し、副会長も務めさせていただきました。その折に、青年部の事業はスタッフの自己満足ではなく、会員すべてが有益になるために構築すべきであると強く感じました。その経験を地元の長野YEGにしっかりと活かし、メンバーのための事業をしていきたいと考えています。

## 次の世代に事業を渡すまでの未来を描く

——今年度のスローガンを紹介ください。大日方 「Creating the future」瞬間を楽しむ

# 青年部内外でのビジネスマッチングをはじめ 会員企業の発展につながる交流を促進し 未来に向け長野YEGの価値を向上させます

——で進め、後者は9月16日（金）18日（日）に開催されるブロック大会に向けた準備と運営に専念します。

長野YEGとしては、総務委員会、地域振興委員会、広報ブランディング委員会、政策提言ビジョン委員会の4つの委員会を設け活動します。まず総務委員会は総会の運営、グループウェア「エンジェラタッチ」の活用促進、他地域のYEGとの交流、災害時連携も含む提携の模索をします。

広報ブランディング委員会は、各種事業のプレスリリース、会員募集、ホームページ運営管理等を担いますが、目指すところはその名の通り青年部のブランディングです。会のブランド力が上がると魅力も伝わりやすく、新しい会員も惹きつけます。まずは内向きのブランディングとして、先ほど申し上げたように、ビジネスマッチングの機会づくりとその成果を発表する場づくりをして、長野YEGの価値向上を図ります。多様な業種が集まっているので、会員がつながることで新しいビジネスが生まれるチャンスはきつとあるはずですが、一方、外向きにはブロック大会の様子など青年部が盛り上がりつつある姿や、商工会議所らしく商売を表に出して集まっている会であることを積極的に発信していきます。

次に、青年部にとって行政とのつながりの強化

## おびなた いさむ 大日方 敢氏

長野商工会議所青年部令和4年度会長  
株式会社オビナタ常務取締役

平成19年、長野商工会議所青年部（長野YEG）入会。平成27年、長野YEG松代支部長、令和元年、日本YEG全国会長研修会担当理事、令和3年、日本YEG中地区担当副会長、長野YEG顧問を歴任。

も大きな課題です。政策提言ビジョン委員会が中心となり、今年度も長野市若手職員との交流を図るべく「風会議」を実施する予定です。また、日本YEGをはじめ積極的に提言を行っている各地のYEGに学びながら、地域の商工業の発展やまちづくり等、幅広いテーマについて長野YEGとして提言をまとめるよう模索します。

もちろん親会（長野商工会議所）との一層強固な関係構築も重要です。親会にはいつも青年部の取り組みを応援していただき本当に感謝しています。一昨年から私たちは親会の業種別部会へ参加していますが、政策提言ビジョン委員会ではその参加推進も事業の柱としており、今年度は部会の事業へより積極的にコミットします。また、長野商工会議所として実施する長野えびす講演火大会などの事業については、青年部としてしっかりと参画し盛り上げていきます。

地域振興委員会は、今触れた長野えびす講演火大会とともに、松代藩真田十萬石まつりのお手伝いをこれまで同様に行いながら、青年部独自の単独事業を模索します。たとえば地域振興事業なら、それを通じて子どもたちが地元の魅力を感じ、進学等でいったん県外に出てもまた長野に戻ってきてくれるようなことを、自分たちで主体的に確立するよう同委員会に願っています。

「未来を創造しよう」としました。私たちが所属しているYEGは「次代の地域経済を担う青年経済人の相互研鑽の場」として、また青年経済人としてあるべき資質の向上と会員相互の交流を通じ、自企業の発展と豊かな地域経済社会を築くこと」を目的とします。つまり、地域の次代の担い手として輝かしい未来を創っていくことが私たちの役割です。「コロナ禍が社会や経済に影を落としていますが、こんな時代だからこそできることがあるはずですが、皆で集まって楽しみながらそれを見出し、目標を未来に置いて語り合い、商工業者としてありたい姿・あるべき姿に向け仲間全体で一歩一歩進んでいきたい」という想いをスローガンに込めました。青年部には既に社長の人もいれば、これから事業承継する人もいます。自分たちが次の世代に渡すまでの未来を創っていけたらと思っています。

そして、地域の未来のためにも、会員企業が成長することが一番です。ビジネスマッチングを含めた会員の交流、つながりの強化を通じ、地域における信用できる仲間づくりをしていきます。長野YEGにあればビジネスに関するいろいろな情報源があり、自企業の発展につながる仕事の話ができる。だから会社としてこの組織に参加することは有益だと皆が思ってくれたら、長野YEGの価値は向上し、新会員もさらに増えるはずですよ。

## ブランディングと行政との関係強化に注力

——お話しいただいたスローガンのもと今年度はどんな事業に力を入れていきますか。

大日方 今年度の事業は、長野YEGとしての事業とブロック大会実行委員会によるものの2本立

## 長野YEGの 中長期ビジョンづくりに着手

——会員拡大も大きなテーマですね。

大日方 はい。長野YEGの会員数は現在125人です。最低でも、長野商工会議所全会員の3%まで増やすことが目標です。約5400会員の3%ですが5162人です。新入会員より卒業会員が多い今の状況を何とか逆転し、青年部の層を厚くしたいですね。人が増えるといろいろな会社と出会う機会も増えます。ビジネスチャンスは、これから入る方にとっても今いる方にとっても増すでしょう。

長野YEGは会長も役員も単年度で交替しますが、年度毎に違う事業があっても基本路線はブレることなく、すべての事業が同じライン上にあるべきだと思っています。そこで会員に、青年部とはこういう会である、という共通認識を育てるためにも、今年度は中長期ビジョンづくりに着手しようと考えています。まずは政策提言・ビジョン委員会を中心に、そのビジョンの作成に向けた調査研究を始めます。青年部のつながりは卒業後も途切れることなく、人間的にも商売的にもかけがえのない絆です。そのつながりがより有意義で強固になるようなビジョンができたらと願っています。



大日方 敢さんの横顔

趣味はゴルフを少々と海釣りを少々。どちらも屋外でやることなのでコロナの制限を受けないが、今はなかなか出かける時間が取れないと話す。